

2021年7月1日  
株式会社朝日工業社

“コメで作った飲むワクチン「ムコライス」の実現に向けて大きな一歩”の発表を受けて

今般、東京大学医科学研究所より「コメで作った飲むワクチン「ムコライス」の実現に向けて大きな一歩」と題した記事が2021年6月26日にプレスリリースされました。東京大学医科学研究所 東京大学特任教授部門 粘膜免疫学部門/千葉大学国際粘膜免疫・アレルギー治療学拠点の清野宏特任教授らの開発した「ムコライス」(MucoRice-CTB)の人に対する安全性と免疫原性が臨床試験により示されたというものです。

[https://www.ims.u-tokyo.ac.jp/imsut/jp/research/papers/page\\_00031.html](https://www.ims.u-tokyo.ac.jp/imsut/jp/research/papers/page_00031.html)

臨床試験に使用されたムコライス (MucoRice-CTB) は、求められる品質・均一性を達成するため、GMP対応型完全閉鎖系 MucoRice 水耕栽培システムにおいて栽培されましたが、このシステム構築には、当社の持つ植物工場における栽培ノウハウが活かされています。イネの栽培に適した空気環境・光環境の制御と養液管理、さらに封じ込め技術を盛り込んだ施設を、設計当初から治験を目指し、東京大学医科学研究所と共同で栽培から治験まで一続きの栽培施設として稼働させてまいりました。その成果として、東京大学医科学研究所から学術論文が発表されたことをとても誇りに感じております。

今後も引き続きムコライスの栽培を支える技術を発展させるべく、LEDなど最新の光源システムを応用し「ムコライス」の低コストかつ大量安定供給ができる栽培システムの確立を目指し、千葉大学大学院園芸学研究科・後藤英司教授をはじめとする関係者の皆様と協力して研究開発を進めて参ります。